

29 外国人保護者向けパンフレットの活用状況と今後の展開

企画・情報部 発達障害情報・支援センター

与那城郁子、赤塚望、渡邊文人、宇山秀一、石坂務、
中林睦美、中澤将人、西田紫郎、矢野美穂、山脇かおり

【はじめに】

発達障害情報・支援センター（以下、弊所）では、外国人保護者に対する福祉・教育情報の提供として、発達障害等に関する情報等をまとめた外国人保護者向けパンフレット「お子さんの発達について心配なことはありますか？～日本で子育てをする保護者の方へ～」を令和元年に発行した。その後、外部関係機関等の協力も得ながら多言語化を進め、現在では23言語版をそろえている（令和6年度末までにあと2言語版を追加予定）。令和6年7月には「発達障害診療を行っている医療機関（外国語対応可）」一覧リストも作成・公開した（掲載機関数：180ヶ所）。

今回、本パンフレットを発行して6年経たことから、パンフレット活用状況およびユーザーの意見の把握等を試み、今後の取り組みや展開を検討するための資料としたい。

【方法】

1. 活用状況の把握：弊所ホームページより、本パンフレットの閲覧件数を言語別に集約した。期間は、集計可能となった令和3年度～令和6年度（6月末閲覧数から推定値を算出）とした。
2. ユーザーの意見の把握：弊所ホームページおよび「発達障害ナビポータル」上にWEBアンケートの回答入口を設置し、ユーザー（外国人保護者へ本パンフレットの情報提供をする支援者）より任意で意見を収集した。本報告での集計期間は、令和3年4月～令和6年6月末とした。

【結果】

1. 本パンフレットの言語別閲覧件数を集計した結果、特に閲覧が多かった言語は「やさしいにほんご版（22,524件）」「英語版（9,155件）」「中国語版（5,345件）」「ポルトガル語版（4,152件）」「ベトナム語版（3,413件）」であった。22言語中、12言語版は閲覧件数1,000件以上であった。
2. ユーザー向けWEBアンケート結果：回答件数は62件、回答者の主な勤務地は26都道府県、主な分野は「障害福祉（27%）」、「外国人支援（18%）」、「子育て・保育（15%）」、「保健（13%）」、「医療（10%）」、「福祉（8%）」「教育（6%）」であった。
 - ・パンフレットの印象：「とてもそう思う/そう思う」と回答した方の割合は「親しみやすさ（96.6%）」「文章のわかりやすさ（84.7%）」「ページ構成がわかりやすい（84.7%）」であった。
 - ・本パンフレットに他に必要だと思う情報：自由記述で寄せられた意見をキーワードで示すと「発達障害特性に関する情報」「相談窓口・機関の情報」「療育の情報」「用語の説明」等であった。
 - ・本パンフレットについての自由意見：特に多かったのは、本パンフレットに関する肯定的意見と謝意であった。他に、実際の活用例や活用案、地域での更なる周知を期待する声なども届いた。

【まとめ】これまで様々な情報提供機会や他サイトへの収載（文科省「かすたねっと」、出入国在留管理庁「外国人生活支援ポータルサイト」等）を通して周知をはかってきたが、活用状況は十分とは言えない。情報分析会議の作業部会で本パンフレットの見直しや新版作成、研修コンテンツ開発等に取り組む予定であり、今回の結果も踏まえて今後の展開について検討を行いたい。